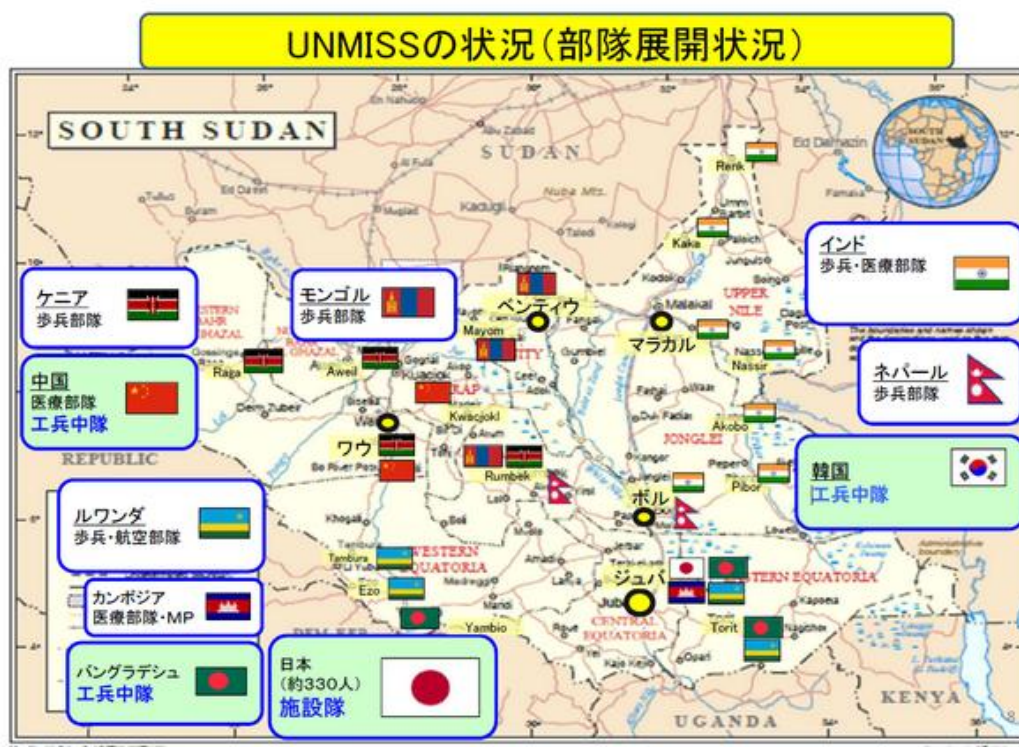


強行採決から1年！戦争法廃止！9.19国会正門前行動 元自衛隊レンジャー部隊の筒井高雄さんのスピーチ要旨



南スーダンの首都ジュバは戦場と化していて、各PKOの宿営地に難民が押し寄せている。そのなかにテロリストなども潜入し交戦状態がつづいている。

安保法制で言っていた邦人保護については、ジャイカ職員は7月中旬にチャーター機で脱出している。日本大使館の殆どの職員は、自衛隊の輸送機で日本に戻っている。残っている大使館職員は危険だからと夜は自衛隊の宿営地で寝泊りしている。

自衛隊が危険なジュバに留まる理由は、法人救出・保護ではなく実戦が目的だ。駆けつけ警護といいながら他国のPKO軍隊と戦闘行動をすることが目的だ。

安倍さんは自衛隊員の命をなんだと思っているのか。

安倍さんのやるべきことは国内で言えば、辺野古問題を沖縄県民の思いにたって、アメリカともう一度議論することだ。

日米同盟を改定し、横田の制空権を日本にもどせば羽田の増便も都内を低空で飛ばなくて済む。

いま、右翼がうるさいといっているが、人の話しにチャチしか言えない。

(右翼の宣伝カーに向かって)

悔しかったら予備自衛官になって訓練を受けて武器の恐さ、人を殺すことの恐さを身をもって体験しろ。

自衛隊員は、この違法な法律によって、政治の命令により南スーダンで敵と思われる市民かテロリストかわからない人を殺すかも知れない。その自衛官が日本に帰ってきたら殺人罪で刑罰を受けるかも知れない。

そんな法律のまま、自衛隊を南スーダンに派兵していいわけがないだろう。お前が国を愛するならば少しは自衛隊員のことを考えろ。

少し熱くなってしまったが、武力なんか使わない外交努力を。政府は防衛研究をする大学に補助金を出すのではなく、武力行使ではなく、どうしたら人道的に、平和外交ができるのかに知恵を絞るべきだ。

今回の参院選1人区で結果を出したように、総選挙で野党は共闘して、今の政権の力をそぎ落とさないと自衛隊が実戦行動をさせられる、だきに留まらず自衛隊員に死者がでたあと、おそらくは情報操作をされ、国葬を行い、その先に待っているのは憲法改正だ。

さらに、自衛隊が南スーダンで実戦させられる背景には、メイドイン・ジャパンの武器をアフリカや中東などで売りさばく道を切り開く狙いがあると思う。そのためには、自衛隊員がちょっとくらい死んでもいいというのが現政権のありようだ。 (HT)